

令和5年度第2回碧南市文化財保護審議会次第

日 時 令和5年9月29日（金）午前10時から

場 所 碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 令和5年度文化財展の進捗状況について（資料1）

(2) 令和5年度・6年度文化財防火デー行事について（資料2）

3 報告事項

(1) 令和5年度歴史系企画展の終了について（資料3）

4 その他連絡事項

(1) 令和5年度市史資料収蔵品展の開催について（別添チラシ）

(2) 委員視察研修の実施に係る予定のご確認について

(3) 市指定文化財「陶製 狛犬」1対（熊野神社所有）

豊川市桜ヶ丘ミュージアム特別展「神殿狛犬の魅力」（令和5年10月28日（土）
～12月3日（日））に出品される予定。

展覧会企画概要書

- 1 名称：文化財展 「地図からみた碧南の変遷」
- 2 会場：碧南市文化会館 展示室 1（碧南市源氏神明町 4 番地）
- 3 会期：令和 6（2024）年 2 月 3 日（土）～ 3 月 7 日（木） ※ 29 日間
- 4 開館時間：午前 9 時～午後 9 時
- 5 休館日：月曜日（2 月 12 日は開館し、翌日休館）
- 6 観覧料：無料
- 7 主催：碧南市・碧南市教育委員会
- 8 開催趣旨：

今回の企画展では、碧南市域をとりまく地図を西端地区・旭地区・棚尾地区・新川地区・大浜地区の 5 か所に区分した展示を行います。

地図を通して碧南市を構成する旧三か町村や西端村についての歴史に触れ、また新川地区（北大浜村・北棚尾村）の分村や油が淵の漁業権争い、矢作川沿いの新田開発といった歴史を、本展示を通して市内の方には郷土の成り立ちに関心を持っていただける、市外の方には碧南という街について知っていただけるようなものにしたいと考えております。

今回は、近年新たに市指定文化財に指定された「大浜村絵図」「西端村・高取村溜池争論裁許絵図」を中心に近世～近代の地図および北大浜村分村願、西端村高取村田畑交換願などの文書や近代以前の碧南の様子が残る写真資料などの関連資料を展示し、市域の発展やその変遷を紐解いていく企画展としたいと考えております。その他展示資料については別紙出展予定表および展示計画をご確認ください。

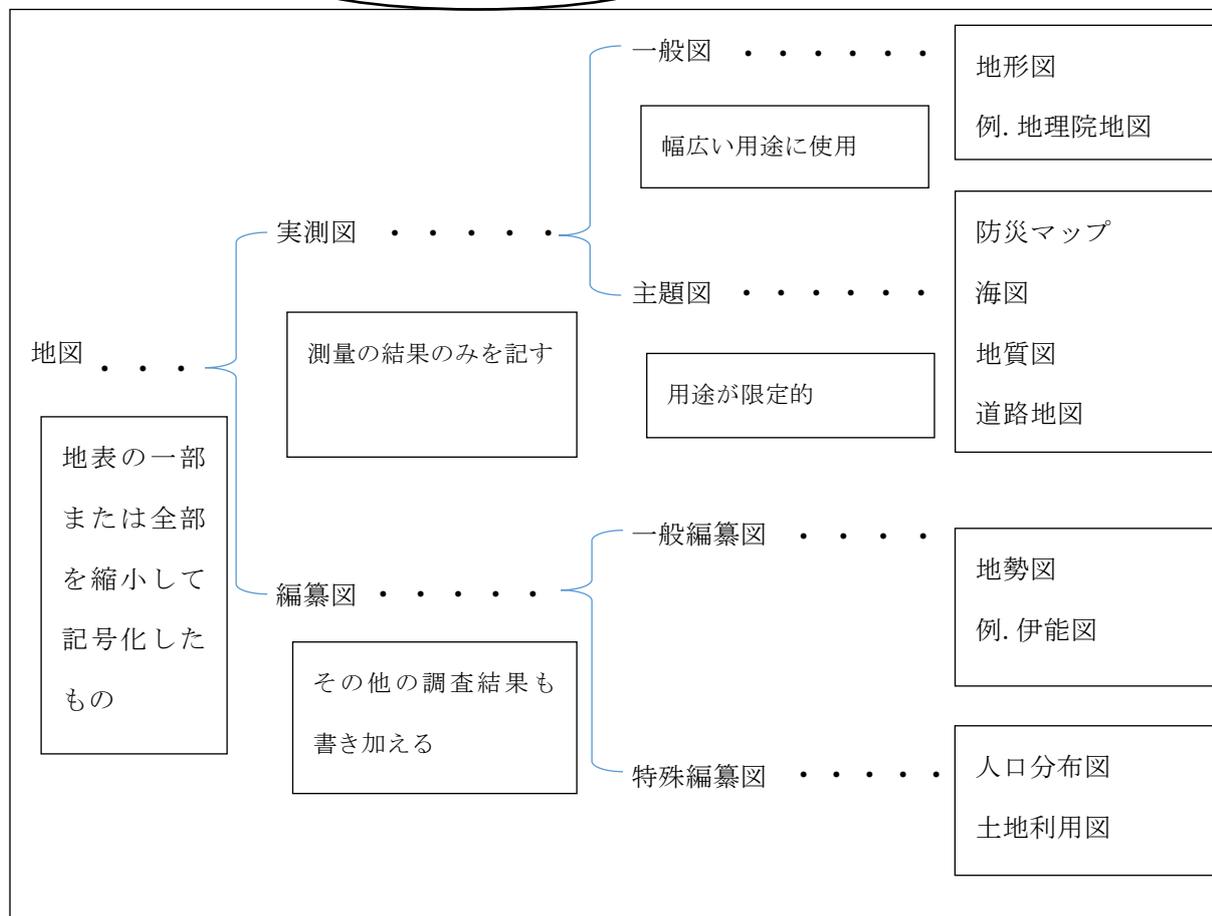
- 9 担当：碧南市教育委員会文化財課文化財係 学芸員 築山拓磨
〒447-0082 愛知県碧南市源氏神明町 2 番地 市史資料調査室内
TEL 0566-41-4566 FAX 0566-41-1984

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更となることがあります。

絵図の定義（本展示における）：

別紙 1

日本国語大辞典：「荘園図、家屋図、海図などの平面図。また絵画など。近世以前の地図の総称」 つまり、絵画的側面をもった地図 または 近世以前の地図の総称



時代設定はいつごろか：

今回展示を計画している多くの地図は天保～明治10年代後半のものが該当する。最も古い時期のものは元禄14年、最も新しい時期のものは昭和初年度ごろである。

前段部分をもっと厚めに（市外の人が「旭ってどこ？西端の西荒井ってどこ？」とならないように）：

キャプションにて各章の前段として地区について歴史を紹介する（市外の来館者のため）

地理院地図を使用する際の国土地理院の規定は確認済

アクリルケースのキャプション：A5サイズ大

解説文を入れるなら100文字程度

ギャラリートーク：

2/3（土）14：00～15：00

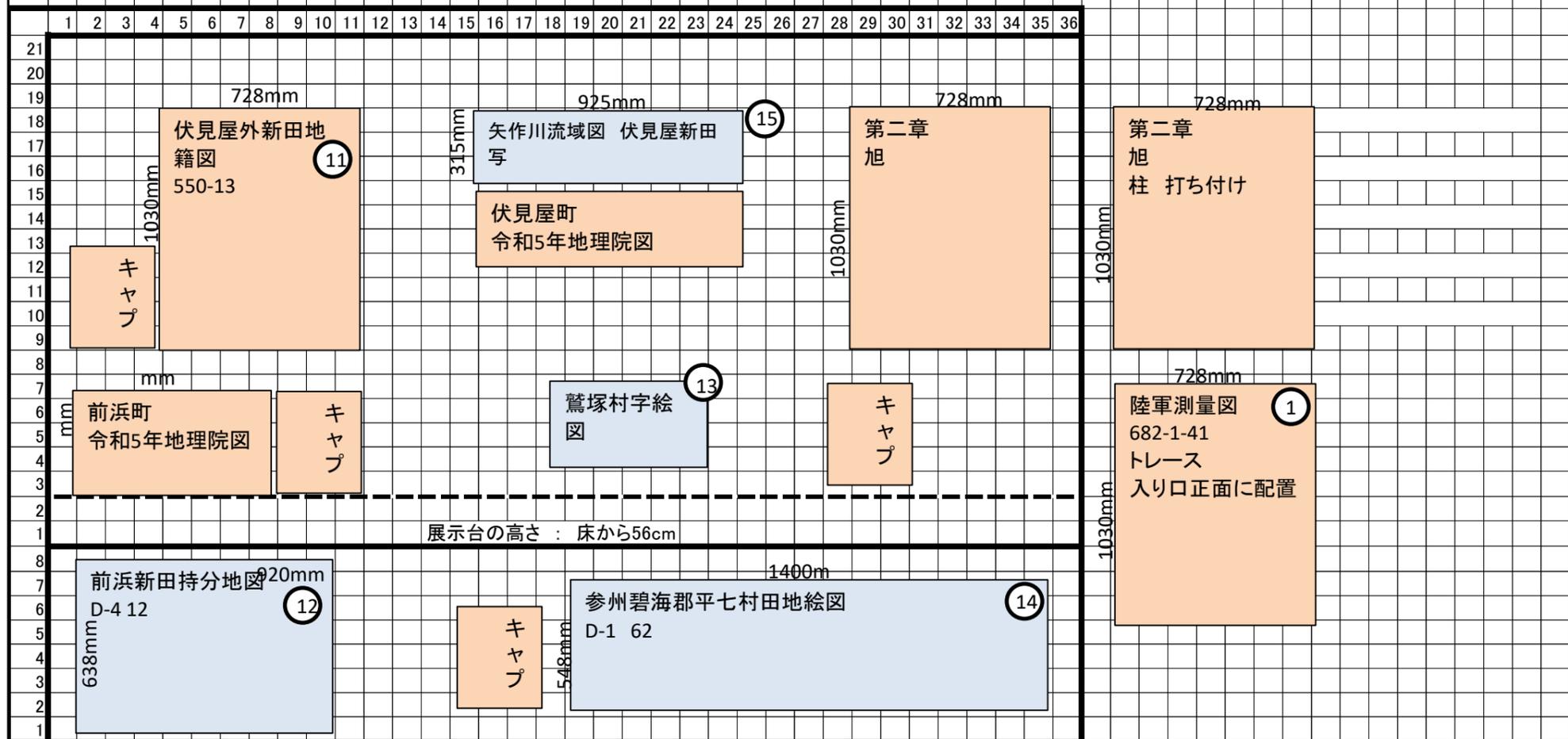
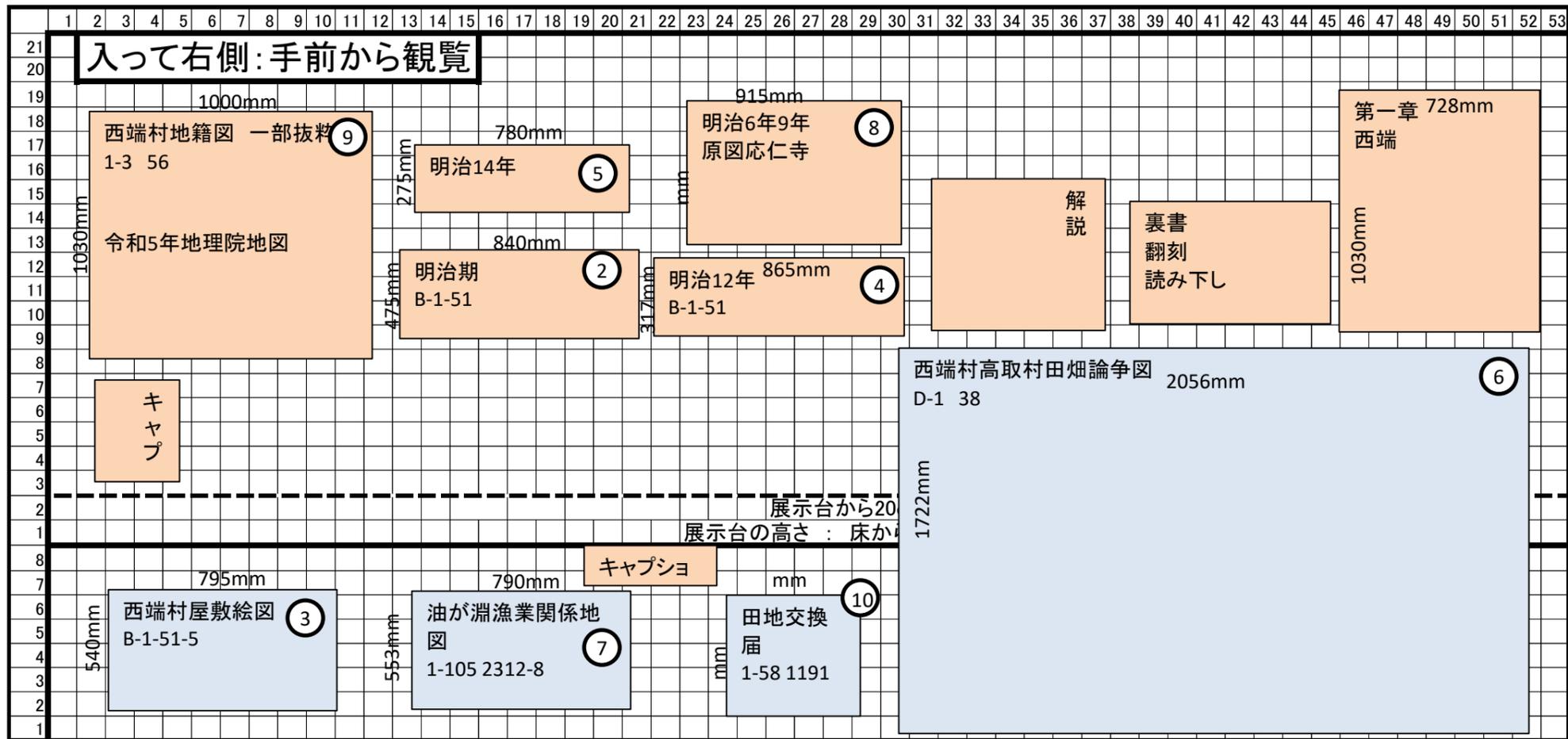
3/2（土）14：00～15：00

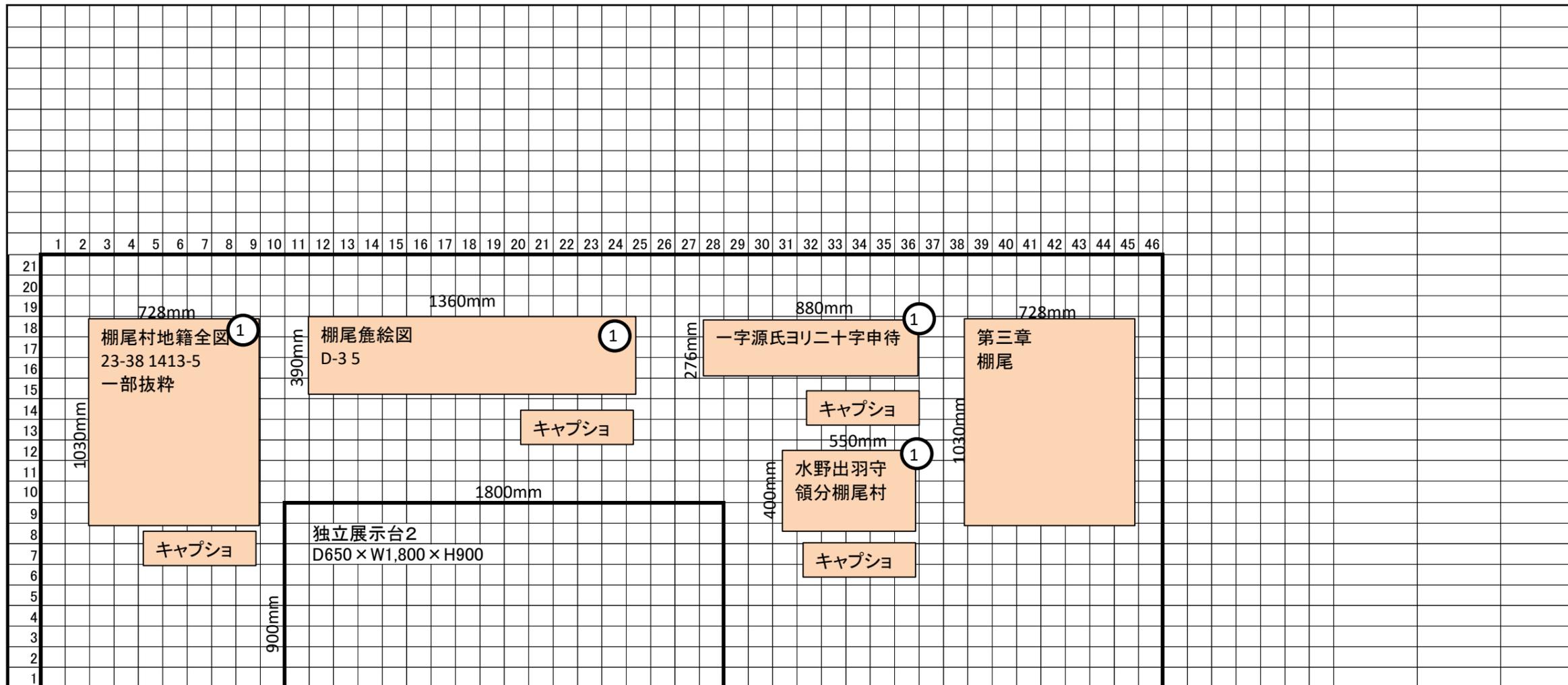
番号	画像	名称	作者等	形態	数量	材質・技法	法量(縦×横cm)	制作時代・年代	地区	所蔵者	備考	調査室史料番号	備考	縮尺			
1		A3にコピーの地図 A1鳴海、A2刈谷、A3半田、 A4武豊村、B1知立、B2安 城、B3西尾、B4桜井村、C1 拳母、C2岡崎	陸軍 陸地測量部	地図	46	地図(古地図)	x	明治23年 ごろ	1890			682 -1	41	トレース 図	0	0	
2		(三河国碧海郡西端村全図 新用水路二付開墾畑田成 概況一村全図・西端村など 絵図一括)		状	5	近世史料(県史調 査)	840 x 475	(明治)		西端		B-1	51	6	パネル	16.8	9.5
3		(三河国碧海郡西端村全図 新用水路二付開墾畑田成 概況一村全図・西端村など 絵図一括)		状	5	近世史料(県史調 査)	540 x 795	(明治)		西端		B-1	51	5	現物	10.8	15.9
4		(三河国碧海郡西端村全図 新用水路二付開墾畑田成 概況一村全図・西端村など 絵図一括)		状	5	近世史料(県史調 査)	317 x 865	明治12年 5月24日	1879	西端		B-1	51		パネル	6.34	17.3
5		(三河国碧海郡西端村全図 新用水路二付開墾畑田成 概況一村全図・西端村など 絵図一括)		状	5	近世史料(県史調 査)	275 x 780	明治14年 4月15日	1881	西端		B-1	51		パネル	5.5	15.6
6		(絵図 西端村と高取村との 地境紛争)	戸備前(印)(他九名)	状	1	近世史料(県史調 査)	1722 x 2056	元禄14年 辛巳12月 14日	1701	西端	・30の原本か ・西端(編纂会) 令和4年度碧南市文 化財指定	D-1	38		現物	34.44	41.12
7		(漁場地図)		状	4	西端村文書	790 x 553			西端	袋入	1-105	2312	8	現物? 薄すぎて パネルの が良いか	15.8	11.06
8		三河国碧海郡西端村全図 (コピー)	(原図: 應仁寺所蔵)				795 x 915			西端	原図: 應仁寺蔵					15.9	18.3
9		地籍字分全図	西端村	縦冊	3	西端村文書	1880 x 3950	明治17年 1月	1884	西端	袋一括	1-3	56			37.6	79
11		地籍字分全図 三河國 碧海郡伏見屋外新田	鈴木甚八 畔柳直七 鈴木表蔵 鈴木要蔵	地図	1	市史資料調査室所 蔵 地図	1840 x 4210	明治17年 1月	1942.1 1884.1の 誤り	伏見屋外		550	13	13	パネル 一部抜粋	36.8	84.2
12		(前浜新田地主持分地図)	三州碧海郡前浜新田 地主・同国同郡大浜村 惣代 名主 八郎右衛 門(印)(他九名)	状	1	近世史料(県史調 査)	638 x 920	天保13寅 年6月	1842.6	前浜	(編纂会)	D-4	12		現物	12.76	18.4
13		字絵図面 武 字東二本木、字西二本木、字荒子下、 字州崎、字狐塚、字東名古屋崎、字西 名古屋崎、字名古屋下、字西間無、字 間無、字名古屋・官下、字宮山、字瀬戸 山、字荒子、字新道、字路分、字中荒 子、字鎌田、字二本木、字板屋塚、字尾 白形、字三郎瀬、字川岸浜、字横出、字 荒井、字中荒子、字赤爪、字蔵下、字魚	第九大区港小区 鷺塚 村		1	鷺塚小学校旧蔵史 料	x	(明治初 年)	1868	鷺塚	旧目録では数量が 「10」となっている。 数量:1(50枚で収字 数:48字)	486	624	534	現物	0	0
14		参州碧海郡平七村田地絵 図					725 x 1680			平七		D-1	62			14.5	33.6
15		(矢作川流域図 伏見屋新 田 写)		状	1	近世史料(県史調 査)	925 x 315	(宝暦10 年辰9月)	(1760)	伏見屋	平七(稲垣元)	D-2	27			18.5	6.3
16		(字切図「一字源氏ヨリ二十 字申待迄」とあり)		状	1	近世史料(県史調 査)	276 x 880			棚尾		C-3	43	2	パネル	5.52	17.6
17		(水野出羽守領分棚尾村絵 図 原本と袋にあり)		状	1	近世史料(県史調 査)	400 x 550	享和元西 6月	1801.6	棚尾	棚尾(編纂会)	D-3	5		パネル	8	11
18		(絵図「棚尾兎絵図」とあり)		状	1	近世史料(県史調 査)	390 x 1360			棚尾	37~40は同一場所に あり。	C-3	37		パネル	7.8	27.2
19		地籍字分全図 甲	棚尾村	状	1	棚尾村文書	1350 x 2780	明治17年	1884	棚尾	包紙入	23-38	1413	5	Gトークで 使用	27	55.6
19		地籍字分全図 乙	棚尾村	状	1	棚尾村文書	1360 x 1760	明治17年	1884	棚尾	包紙入	23-38	1413	5	Gトークで 使用	27.2	35.2
20		棚尾村絵図(御引渡之節岡 崎御役所江書上候図)					1440 x 1030			棚尾		D-2	62			28.8	20.6
21		地籍字分全図 三河國碧海郡北大浜村	岩田伊平 岡本人右衛 門 岡本三次郎 角谷安兵衛	地図	1	市史資料調査室所 蔵 地図	3380 x 1780			北大浜		550	10	10	パネル 現在の 新川と 比較	67.6	35.6

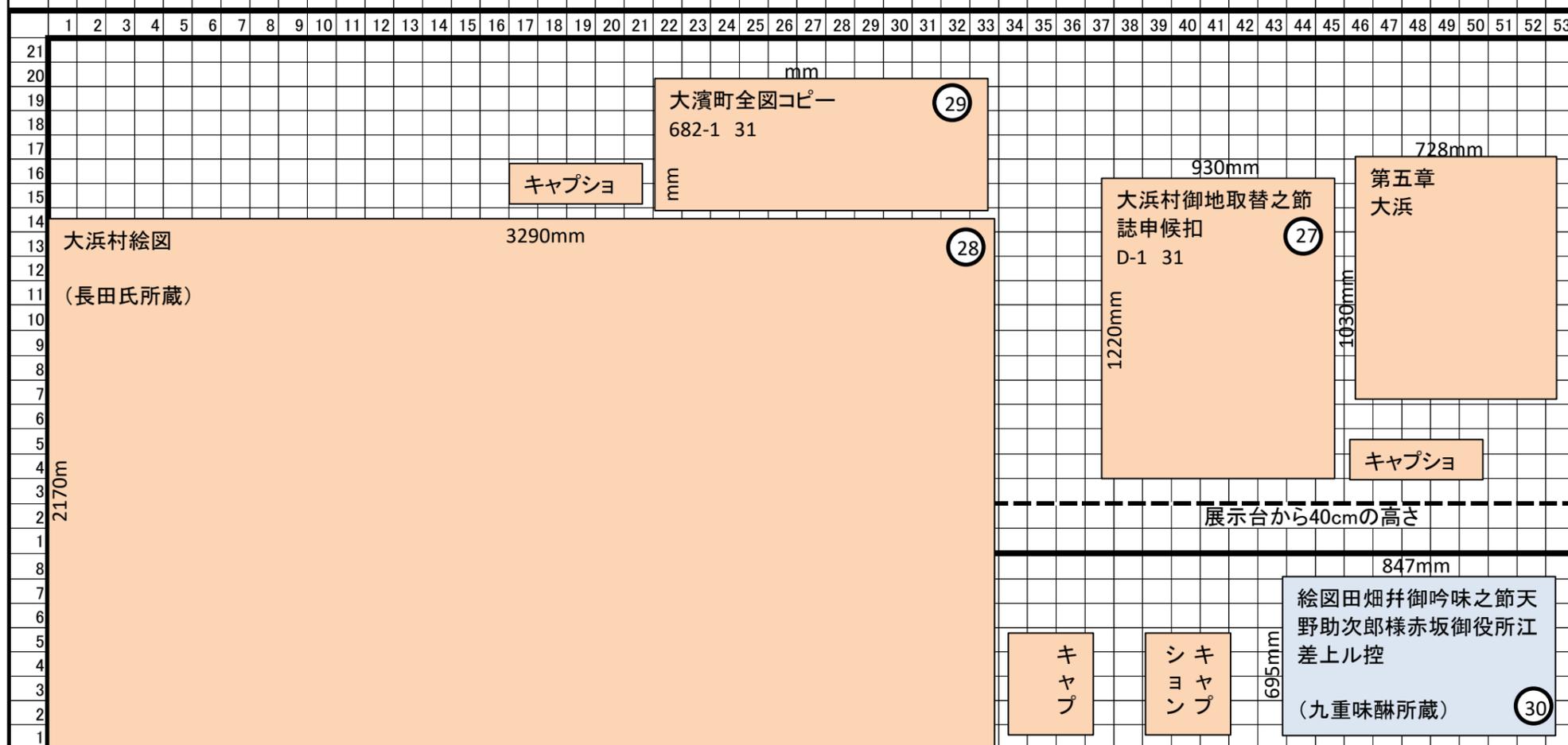
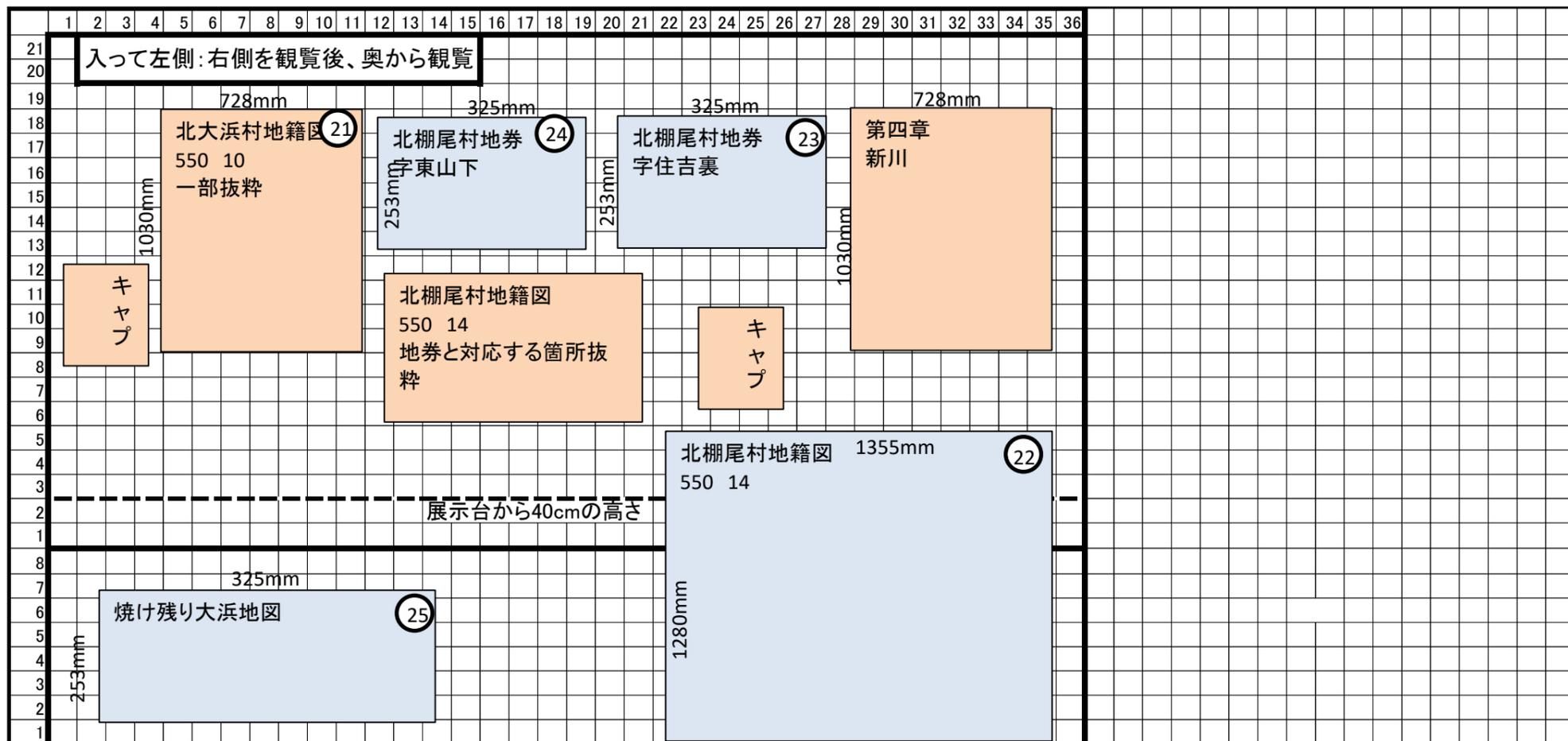
22		地積字分全図 三河國碧海郡北棚尾村	鈴木嘉兵衛 山口甚吉 鳥居新六 角谷安兵衛	地図	1	市史資料調査室所蔵 地図	1280	x	1355					北棚尾			550	14	14	現物	25.6	27.1
25		(年号不詳 大浜絵図)		状	1	大浜村文書		x						大浜		封筒一括	52-4(別箱)	92	ラベル無 番号未詳	印刷	0	0
27		(大浜村絵図「大浜村御地取替之節誌申候扣」とあり)	大浜長田家	状	1	近世史料(県史調査)	1220	x	930	元禄14年 巳6月	1701			大浜		大浜(長田致親)	D-1	31		現物	24.4	18.6
28		大浜村絵図	(長田英之氏所蔵)	地図	1		3290	x	2170	明和6年	1769			大浜		(翻刻) 「明和六年丑五月 真野惣十郎様御役所江差上候控 但田端并塩浜小前帳相添」				現物?	65.8	43.4
29		愛知縣大浜町全図 1万5千分の1		地図	1	地図(古地図)	257	x	364	昭和				大浜			682-1	31		パネル	5.14	7.28
30		絵図田畑并御吟味之節天野助次郎様赤坂御役所江差上ル控	(石川家(九重味謙)所蔵)	地図	1		695	x	847	延享二年	1745			大浜		平成20年企画展『大浜陣屋の世界』図録p.91に記載				パネル	13.9	16.94

地図以外

10		高取村江交換地	西端村	縦冊	1		250	x	170	明治9年7月9日	1876				袋一括	西端村文書	1-58	1193		現物	5	3.4	
23		地券(北棚尾村字住吉裏八十番)		紙	1	北・文書箱 民俗1	325	x	253	明治11年6月1日	1878.6.1					畑12歩、地価85銭。地主：榊原傳平一川隣新右衛門一銅本与三郎。地租2銭6厘一2銭1厘。青色地券は明治10年までに大日本帝國政府大蔵省紙幣印刷局で製造されたもの。	3	4	-	50	34		
24		地券(北棚尾村字東山下四番)		紙	1	北・文書箱 民俗1	325	x	253	明治11年6月1日	1878.6.1					畑2畝19歩、外2歩畦畔。地価6円99銭。地主：榊原傳平一川隣新右衛門一銅本与三郎。地租21銭一17銭5厘。	7	4	-	50	38		
26		(北大浜村分村願関係書類)		綴	1	新川町文書		x		明治14年～明治15年	1881～1882				袋一括		22-5	176		現物	0	0	
		塩田跡硝子版写真		写真	1			x												パネル			
		八柱神社と塩取場	棚尾村					x													パネル		
		(写真) 棚尾塩田	棚尾村			新川小・塩塚小・西端小・東中寄贈資料		x		明治末～大正初(製塩は明治43年9月30日をもって終了)					表に説明書が貼ってある。八柱神社の南のあたりの塩田と		34-1	17		写真			

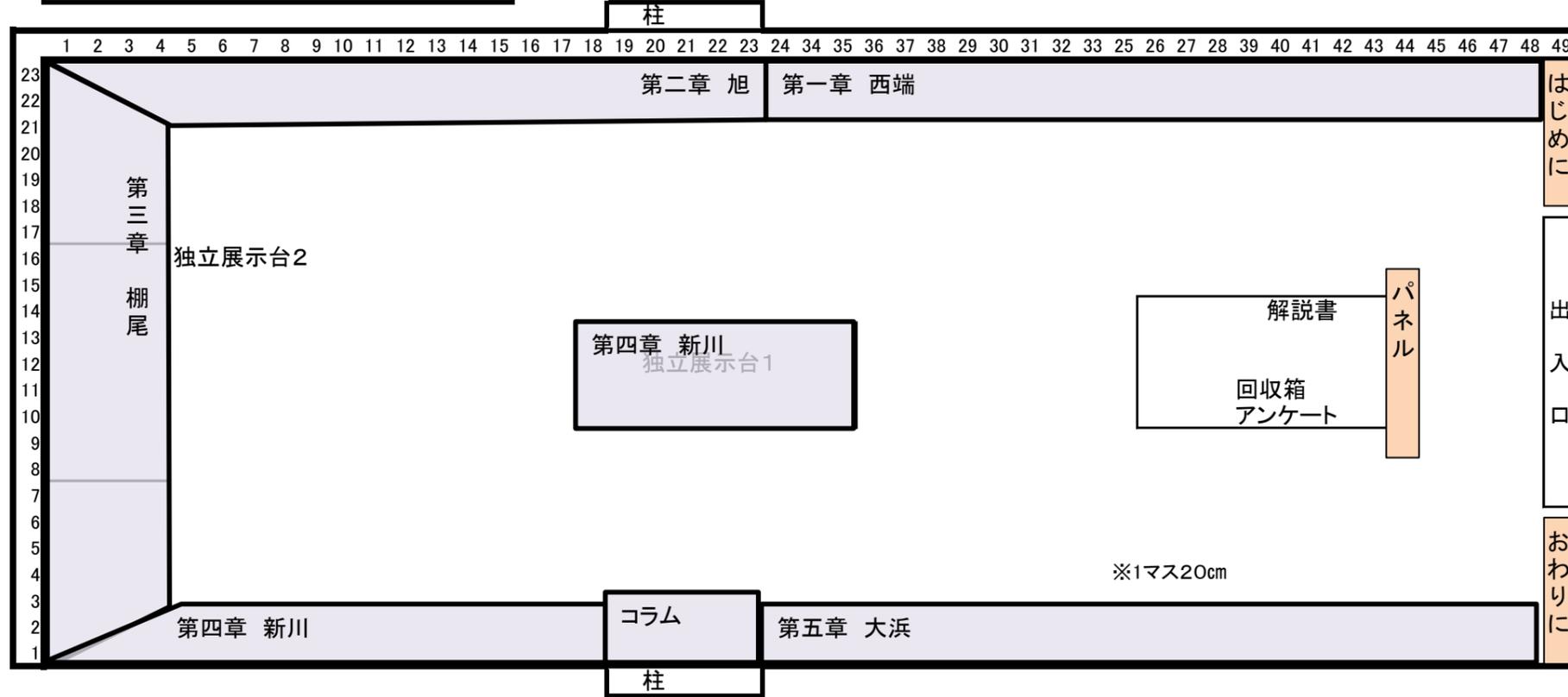






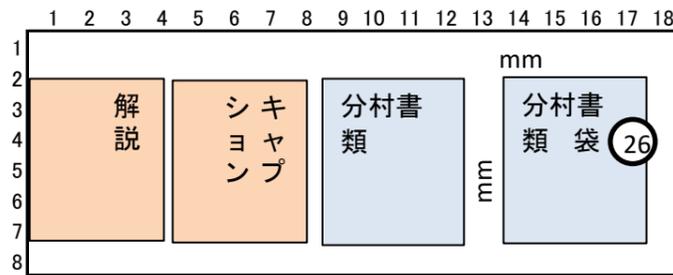
中央部分独立展示

※ - マス 20 cm



■ 原本
■ 複製、パネル等

独立展示台1



独立展示台2



文化財防火デー行事実施場所一覧

年度	地区	防火訓練	文化財調査	実施日
平成元年度	新川地区	山神社		
平成2年度	大浜地区	称名寺		
平成3年度	棚尾地区	妙福寺		
平成4年度	旭地区	池端蓮成寺		
平成5年度	西端地区	応仁寺		
平成6年度	新川地区	山神社		
平成7年度	大浜地区	海徳寺		
平成8年度	棚尾地区	妙福寺		
平成9年度	旭地区	遍照院		
平成10年度	西端地区	応仁寺		
平成11年度	新川地区	山神社		
平成12年度	大浜地区	熊野神社（上の宮）		
平成13年度	棚尾地区	妙福寺	中区稻荷社	
平成14年度	旭地区	池端蓮成寺	鷲塚天満神社	H15.1.24
平成15年度	旭地区	貞照院	伏見屋稻荷神社	H16.1.23
平成16年度	西端地区	康順寺	同左	H17.1.26
平成17年度	新川地区	白山社（久沓）	同左	H18.1.26
平成18年度	大浜地区	大浜稻荷社	同左	H19.1.26
平成19年度	棚尾地区	八柱神社	同左	H20.1.25
平成20年度	大浜地区	稻荷神社（前浜）	平等寺（前浜）	H21.1.23
平成21年度	西端地区	栄願寺	同左	H22.1.26
平成22年度	新川地区	専興寺	専興寺、秋葉社（松江町）、稻荷社（松江町）	H23.1.26
平成23年度	大浜地区	大浜熊野大神社	妻薬師堂	H24.1.26
平成24年度	棚尾地区	安専寺	同左	H25.1.14
平成25年度	旭地区	貞照院	同左	H26.1.23
平成26年度	中央地区	法城寺	同左	H27.1.27
平成27年度	西端地区	八劔神社	同左	H28.1.27
平成28年度	新川地区	精界寺	同左	H29.1.24
平成29年度	大浜地区	林泉寺	同左	H30.1.26
平成30年度	棚尾地区	光輪寺	同左	H31.1.24
令和元年度	旭地区	川端蓮成寺	同左	R2.1.22
令和2年度	中央地区	中山神明社	（中止）	R3.1.26
令和3年度	西端地区	應仁寺	同左	R4.1.19
令和4年度	新川地区	浅間社	（中止）	R5.1.20
令和5年度	大浜地区	平等寺（前浜）		R6.1.●
令和6年度	棚尾地区			

地区名	開催回数
西端地区	6
新川地区	7
中央地区	2
旭地区	6
大浜地区	8
棚尾地区	7
計	36

《清澤満之の世界展》アンケート集計表

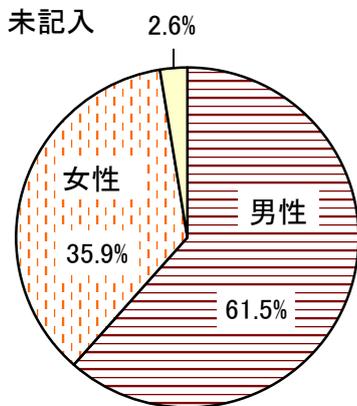
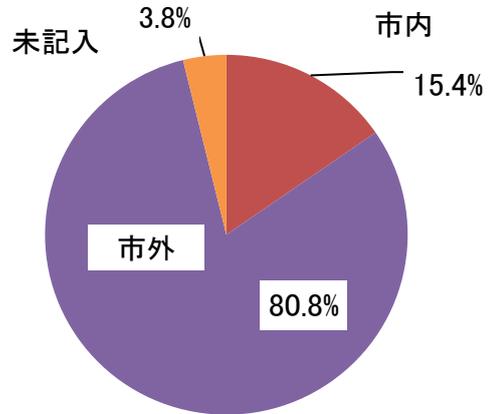
資料3

アンケート回答枚数 **78枚** (アンケート回答率 1.8%) (観覧者数 4,226人)

問1 どちらからお越しになりましたか？

市内	12件	15.4%
市外※	63件	80.8%
未記入	3件	3.8%

刈谷市	2件	
安城市	2件	
西尾市	4件	
知立市	0件	
豊田市	6件	
岡崎市	6件	
名古屋市	9件	
その他県内	24件	
県外	5件	
未記入	5件	

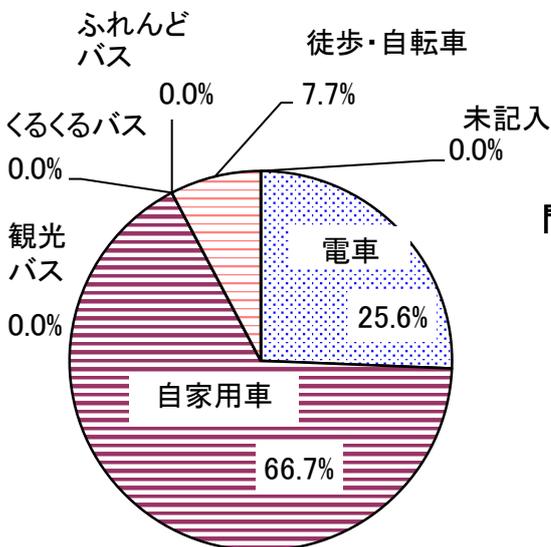
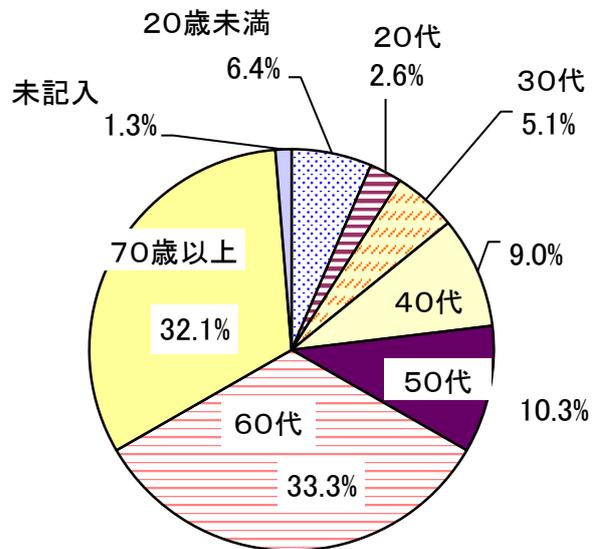


問2 性別は？

男性	48件	61.5%
女性	28件	35.9%
未記入	2件	2.6%

問3 あなたの年齢は？

20歳未満	5件	6.4%
20代	2件	2.6%
30代	4件	5.1%
40代	7件	9.0%
50代	8件	10.3%
60代	26件	33.3%
70歳以上	25件	32.1%
未記入	1件	1.3%



問4 ここまでの交通手段をお教え下さい。

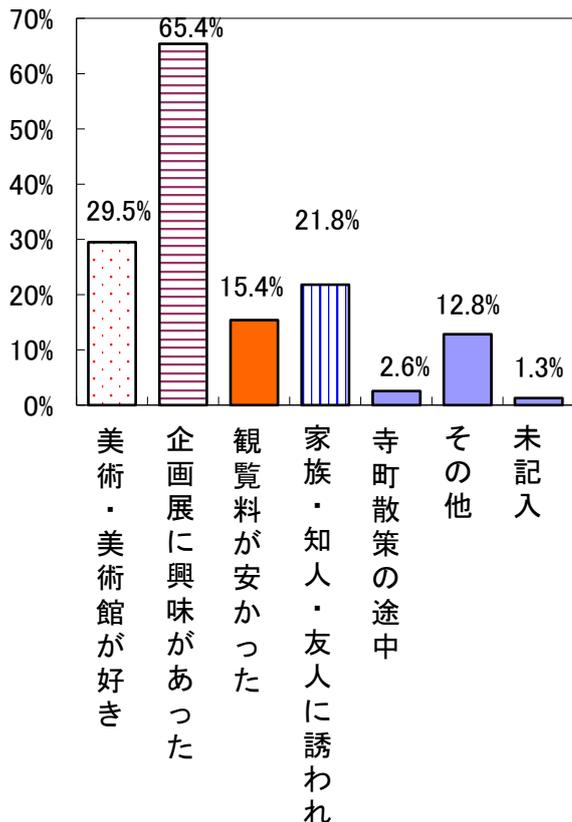
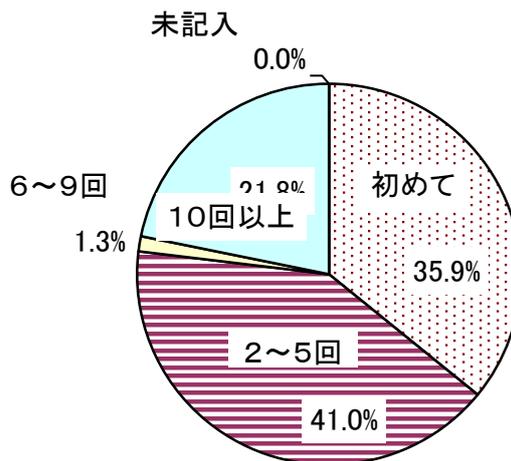
電車	20件	25.6%
自家用車	52件	66.7%
観光バス	0件	0.0%
くるくるバス	0件	0.0%
ふれんどバス	0件	0.0%
徒歩・自転車	6件	7.7%
未記入	0件	0.0%

《清澤満之の世界展》アンケート集計表

資料3

問5 碧南市藤井達吉現代美術館にお越しになるのは何回目ですか。

初めて	28件	35.9%
2～5回	32件	41.0%
6～9回	1件	1.3%
10回以上	17件	21.8%
未記入	0件	0.0%

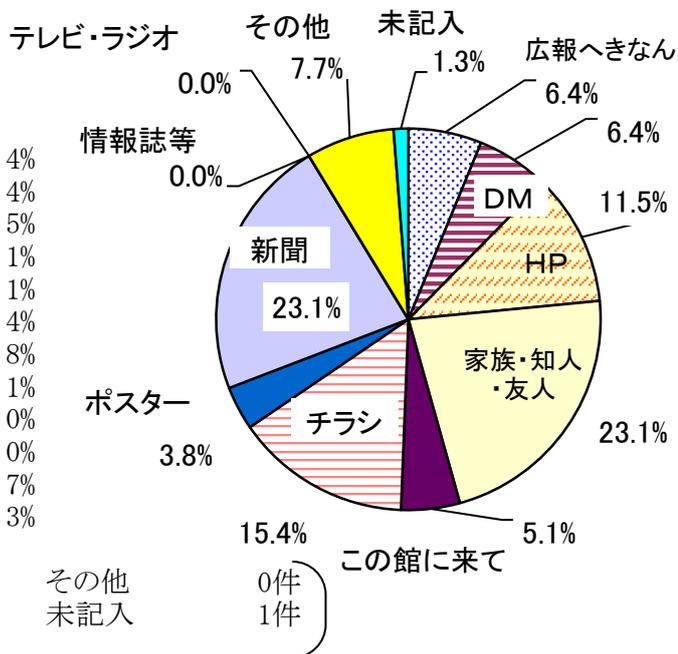


問6 本日も来場された理由は何ですか？ (複数選択可)

美術・美術館が好きだから	23件	29.5%
企画展に興味があったから	51件	65.4%
観覧料が安かったから	12件	15.4%
家族・知人・友人に誘われたから	17件	21.8%
寺町散策の途中	2件	2.6%
その他※	10件	12.8%
未記入	1件	1.3%

問7 企画展を何で知りましたか。

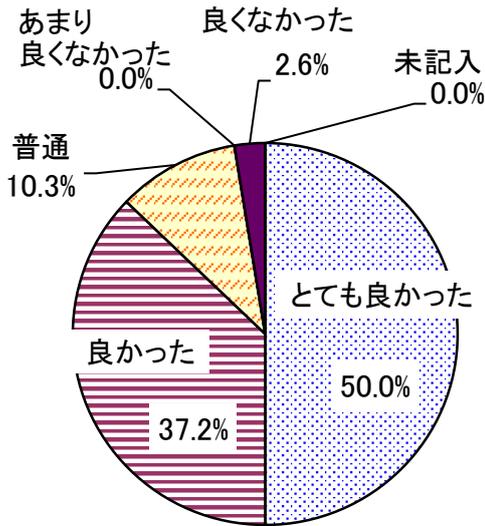
広報へきなん	5件	6.4%
ダイレクトメール	5件	6.4%
ホームページ	9件	11.5%
家族・知人・友人	18件	23.1%
この館に来て	4件	5.1%
チラシ	12件	15.4%
ポスター	3件	3.8%
新聞	18件	23.1%
情報誌等	0件	0.0%
テレビ・ラジオ	0件	0.0%
その他	6件	7.7%
未記入	1件	1.3%



中日新聞	2件	
読売新聞	0件	
朝日新聞	15件	
その他	0件	
未記入	1件	

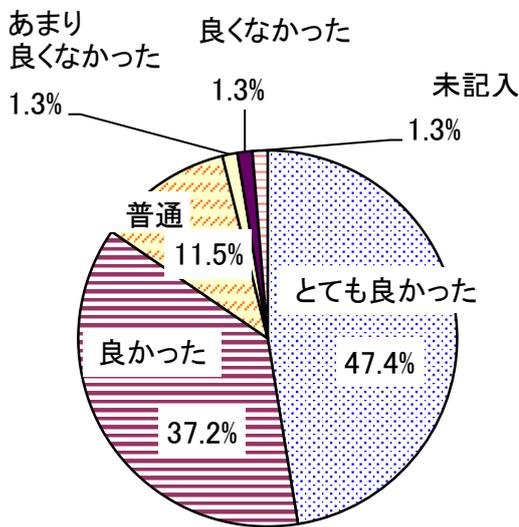
《清澤満之の世界展》アンケート集計表

資料3



問8 企画展は、いかがでしたか？

とても良かった	39件	50.0%
良かった	29件	37.2%
普通	8件	10.3%
あまり良くなかった	0件	0.0%
良くなかった	2件	2.6%
未記入	0件	0.0%

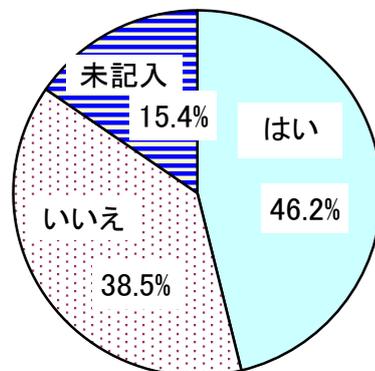


問9 スタッフの対応はいかがでしたか？

とても良かった	37件	47.4%
良かった	29件	37.2%
普通	9件	11.5%
あまり良くなかった	1件	1.3%
良くなかった	1件	1.3%
未記入	1件	1.3%

問10 碧南市外からお越しの方にお尋ねします。 本日碧南市内で買物や食事をされましたか(予定を含む)？

はい	36件	46.2%
いいえ	30件	38.5%
未記入	12件	15.4%



アンケート 自由項目欄 まとめ

Q1 市外内訳

<西三河> 23件

安城市 2 岡崎市 6 刈谷市 2 西尾市 4 高浜市 1 豊田市 6 みよし市 2

<知多> 5件

知多市 1 東海市 1 半田市 2 東浦町 1

<尾張> 23件

愛西市 2 あま市 1 一宮市 3 稲沢市 1 尾張旭市 2 蟹江町 2 清須市 1
瀬戸市 1 長久手市 1 名古屋市 9

<東三河> 2件

蒲郡市 1 豊橋市 1

<県外> 5件

岐阜県 2 長野県 1 三重県 2

<未記入> 5件

Q6 来館理由 その他

- ・ 講話
- ・ 清澤満之が好きで講演もあったから
- ・ 小学校の先輩
- ・ 太谷大学とは何か
- ・ アンケート者のご案内
- ・ 喫茶での食事も楽しみです。
- ・ 広報でチケットがあったので
- ・ 清澤さんから
- ・ 未記入 2

Q7 企画展を知った方法

<チラシの設置場所>

- 当館
- 吉良町図書館 2
- アローブ大府
- 愛知県芸術文化センター
- 本願寺
- 長久手 文化の家
- シビックセンター
- 未記入 4

<ポスター>

- 当館
- 刈谷駅
- 栄駅
- 未記入 0

<新聞>

- 中日新聞 2
- 朝日新聞 15
- 未記入 1

<情報誌等名>

-

<テレビ・ラジオ>

-

<その他>

- HP・家族、知人、友人・チラシ・新聞
- DM・新聞(朝日) 2

- ・ 家族・チラシ
- ・ チラシ・ポスター
- ・ 未記入 1

Q8 感想 理由

<とてもよかった>

- ・ 宮沢政次郎と宮沢トシの手紙
- ・ 解説が大変わかりやすい。すべてにわたってゆき届いておりました。
- ・ 私事ですが、名古屋市の筒井小学校出身で、満之の名のみは知るところでした。校内に石碑もありました。今回、このような満之の全体像及びネットワークについて知るところ多く、大いに学びました。
- ・ フェノロサの講義録、宮沢政次郎、トシの近角常観あて手紙
- ・ 本年2月の大谷大学の博物館展示で初めてその存在を知った。清澤満之の世界に触れることができ大変うれしい。
- ・ 満之の生涯と思想がよく理解できました。
- ・ 司馬遼太郎のこと、宮沢賢治、トシのこと
- ・ 中村不折の油絵も水墨画もすばらしいもの（印刷では味わえない）
- ・ 司馬遼太郎や宮沢賢治との関係がわかった。
- ・ 満之の肖像画、墨蹟、求道の人らしい力強く実直な人物像がよく表れていた。
- ・ 清澤満之先生の直筆のものや机など、またお弟子の皆様から慕われていた没後の様子などの展示が特によかった。
- ・ また来ます。
- ・ 清澤満之を研究し始めています。大変良い資料が沢山で感動しました。
- ・ 身近な所にあった素晴らしいものを教えていただいた。
- ・ 正信像のお経があり、よかった。家が浄土真宗のため。
- ・ すべてご案内文がわかりやすく、心にしみいりました。
- ・ 宮沢トシの自筆の手紙、びっくりしました。満之の筆跡がいろいろで楽しかった。
- ・ 我が同じ小学校の出身者としてとても親近感を。でも哲学（宗教）は難しいですね。
- ・ 西方寺の有り方が良く認識できました。
- ・ 名前は知っていましたが、どの様な考え方、感じ方等がよく知ることができた。

- 直筆があってよかった。
- これからも続けてほしい。
- 知らなかったこと、ものを見て知ることができた。
- 短命のため、第1章の展示のみでなく、第2章の展示で死後のことまでわかりよかった。
- 清澤満之の思想、思索の足跡がわかりやすく、展示説明されており興味深いものでした。
- 碧南の方を詳しく知られてとても良かった。
-
- 未記入 13件

<よかった>

- 山崎弁栄・フェノロサ
- 関心があった展示資料はM36.6月の「わが信念」の原稿であります。本でこの死の直前の絶筆を目にした時にこの人についての関心が増しました。
- 正岡子規との交遊については夏目漱石に至る学友としての交際をもう少し説明してほしかった。橋本峰雄氏の紹介で当時の筒井小学校の校長先生に質問したくんだりきっかけで、時々満之の関係の本をひもといています。小学校には石碑が建っています。
- 106“正直者～”の書は心に刺さりました。
- 倉田百三とは、無関係かな？子規や宮沢賢治があったのでそんな感がわいてきました。
- 人生、生き方、人とは等、自分を見つめなおし、生きる力がわきました。
- 直筆の原稿、ノート等を見ることができた。
- 清澤満之について勉強になりました。
- 未記入 21件

<普通>

- よく資料が残っていますね！
- 私の主観にすぎないし、この企画展の人物のことが私には理解できていません。
- 知らないことをたくさん知る機会になったから。
- 最初にある絵がきれいだった。
- 未記入 4件

<あまりよくなかった>

- ・ 未記入 件

<よくなかった>

- ・ 内容がとにかく難しい。文字が多く固有名詞が理解できないところがあった。
- ・ 歎異抄との関わりをもっと掘り下げてもいいのでは？夏休み期間にはあまりに難しい内容だった。宗教でも絵画や像がなくて楽しくない。

11 意見・要望

- ・ コレクション展の涼しい絵画が季節性もあり楽しめた。
- ・ 館内が寒すぎてゆっくりしっかり見られなかった。湿度の関係もあると伺ったが、次回は厚着してみます。
- ・ 常設は楽しかった。
- ・ もっと宣伝して多くの人に知ってもらいたい。
- ・ この展示を他のところでも是非。
- ・ 満之の考えが私のような超人にもわかる企画スペースがあると良いと思いました。
- ・ 親兄弟、大谷大OBです。名古屋伏見新聞社（朝日）前ポスター展示で知りました。
- ・ 久万美術館、唐木館長とご縁をいただき、こちらのこともお聞きしておりました。リニューアルを機に初めて訪れました。来年初めの「顕神の夢」も楽しみにしております。
- ・ もう少し生涯を詳しくお願いしたい。子供のうすれたタイミングが少しわからなかった。
- ・ 順路どおり見ないと注意されて不快。人が沢山いればわかるが、番号順に並んでいるものでもないのに余計なお世話。
- ・ 「伊藤かね」って誰？（浩々堂の集合写真）
- ・ 読めないところがあり「かな」がうてるとうっていただくとありがたい！藤井達吉翁とは実家が200m程です。1度来たかったので、よかったです。
- ・ 冷房がききすぎ、寒くて長く居れない。
- ・ DMを送っていただいています。ありがとうございます。駐車場がせまい。ほかにもあるようだが、わかりづらいのでとめるのに苦労しました。
- ・ K庵のランチ、おいしかった。清澤満之は知らなかった旭丘の先輩ですね。
- ・ 新しく美術館が整備されよるこばしいことです。気に入った展示を次回も鑑賞するつもりです。
- ・ この企画展を通して私が興味を感じたのは新美南吉と宮澤賢治でした。

- 先月も見に来て今日が2回目ですが、会期が短いのが残念です。
- 館の建物のよさはまったく予想を超えるものでした。またスタッフの皆様の節度あるご対応は、これまで経験したことのないほどでした。清掃スタッフの女性も非常に丁寧で親切でした。
- 初めて来館して、きれいな所で驚きました。
- なかなか観られない展覧会の企画に感動し、みせていただきました。
- 冷房が少し強くて、見ているうちに体が冷えてしまいました。もう少し弱いといいかと。□ビーはいいのですか？（どこの美術館もその傾向がありますね）
- 現在みよし在住ですが、実は出身は満之さんと同じ名古屋の筒井小です。名古屋で生まれ育ったんです。わがお寺の住職さんに教えられとても興味をもった。1 昨年、西尾の岩瀬文庫で大浜騒動の展示を観たが、できたらこの大浜騒動について一度企画してほしいです。
- 館内での鑑賞中の大声が気になりました。
- 自分の体が思うように動くことができるうちは来てみたいです。
- 美術館すばらしいのに驚きました。
- 他の都市で巡回展したらどうか。もったいない。東京、京都、金沢などで
- 具体的にわかりやすいように満之の考え、めざしたことを書いてほしかった。

令和5年度 碧南市市史資料收藏品展

「土人形展 ～三河土人形の 中心地・碧南～」



「一の谷」熊谷直実：鈴木市太郎・初太郎作

令和5年 **11月11日(土)～12月7日(木)**

午前9時～午後9時 月曜日休館

会場：**碧南市文化会館**（碧南市源氏神明町4）1階 展示室1 <観覧無料>

主催：碧南市教育委員会 所管：碧南市文化財課・市史資料調査室

ギャラリートーク：会場にて担当者が展示の説明をします。参加費無料、事前申込不要

11月18日(土)、12月2日(土) 午後2時～（30分程度）

令和5年度 碧南市市史資料収蔵品展

「土人形展 ～三河土人形の中心地・碧南～」

令和5年11月11日(土)～12月7日(木)

本年度は碧南市市制 75 周年の年となります。現在、碧南市は臨海部に多くの工場等が集まり、工業生産額の第一位は自動車関連の機械となっています。しかし、75 年前に碧南市制が始まった頃は、生産額の一位は瓦を中心とした窯業関連の製品でした。御存じの通り、これは碧南市が良質な粘土に恵まれ、18 世紀の後半には瓦造りが始まり、三州瓦の中心地の一つとして発展してきたためでした。

瓦以外にもこの良質な粘土が生み出したものとして、今では人々に忘れ去られてしまった土人形があります。土人形は京都の伏見でつくられたものが全国に広まり、各地で作られるようになったものです。碧南市域でも幕末から明治にかけて、数多くが作られるようになりました。三河各地で作られた土人形が三河土人形と呼ばれる中、碧南市はその生産の中心地でした。

そんな碧南での土人形作りも人々の生活が豊かになった昭和 30 年代に入ると、衣装雛に押されて消えていきました。しかし、全国の多くの土人形愛好家の熱心な要望を受け、大浜地区の禰宜田家では昭和 40 年代に、旭地区の高山家では平成に入ってから土人形作りが再開されました。

愛知県内で現在も土人形作りが続けられているのは、半田市の乙川土人形、碧南市の大浜土人形と旭土人形の 3 か所のみです。三河地方に限定すれば、碧南市のみとなります。近年、新たに多くの土人形が寄贈されたので、それらを中心に令和 5 年度の市史資料収蔵品展において碧南市の土人形とその歴史をご紹介します。



「牡丹持ち童子」
岡本重太郎・開太郎作



「仮名手本忠臣蔵・一力茶屋」
大星力弥、大星由良助：高山八郎作

8月26日(土)～11月26日(日)に藤井達吉現代美術館地下展示コーナーにおいても土人形展示中



収蔵品展に先駆けて、藤井達吉現代美術館の地下展示コーナーにおいて、土人形を展示しています。大浜土人形の名品とされる高さ 50 cm を超える左の「賤ヶ岳」(禰宜田章作)も展示していますので、ぜひご覧ください。

碧南市教育委員会 文化財課
市史資料調査室
TEL(0566)41-4566

〒447-0872
愛知県碧南市源氏神明町2
市民図書館中部分館 2階